

癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 悪性リンパ腫
 CD20陽性濾胞性リンパ腫
 レジメン名 NHL13 G-B(2コース目以降)

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
ガザイバ	オビヌツズマブ	-	1000mg/body	div	DAY1	下記参照	28日間
トレアキシ	ベンダムスチン		90 mg/m ²	div	DAY1,2	60分	

G-B【DAY 1】

- ① NS 50ml + グラニセトロン1A / 15分
- ② NS 250ml + トレアキシ mg / 60分
- ③ NS 50ml / 5分
- ④ NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分
 ☆別々のシリンジで混注 ※カロナール600mg内服
- ⑤ NS 210ml + ガザイバ mg /25ml/hrから開始
 投与速度: 30分毎に 25ml ずつ上げる
 (25ml/hr → 50ml/hr → 75ml/hr → 100ml/hr → … → 225ml/hr)
- ⑥ NS 50ml / 5分

G-B【DAY 2】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分
 ☆別々のシリンジで混注
- ② NS 50ml + グラニセトロン1A / 15分
- ③ NS 250ml + トレアキシ mg / 60分
- ④ NS 50ml / 5分

< 備考 >

- ① トレアキシは1V/蒸留水40mlで溶解(閉鎖式器具使用) 調製後3時間以内に投与すること。
- ② ガザイバは最終液量250mlに調製
- ③ 炎症性抗がん剤(血管外露出、静脈炎、疼痛に注意)
- ④ 化療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後12カ月はHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ ヘルペス、帯状疱疹、ニューモテイス肺炎対策:【予防投与】ST合剤1錠1×、アシクロビル1錠1×
- ⑥ 治療前に歯科で歯肉炎チェック
- ⑦ 遅発性吐き気が出やすい(→イメンド、アロキシ使用)
- ⑧ ガザイバ投与時は infusion reaction に注意(投与速度とIR発現頻度は相関する)。投与再開時は 投与速度を半分以下に下げる。
- ⑨ 6コース目まで

H30.9.25作成